

宇治・桂キャンパス間の学内バス増便のお願いについて

【ご意見・ご要望】（投稿日：2018年3月3日）

宇治・桂キャンパス間の学内バスの増便をお願い申し上げます。

現在、該当バスは一日に片道3便、計6便しか運行しておらず、宇治キャンパスの研究室に所属する学生にとって大きな不便を強いています。バスに乗ることができずに公共交通機関を使って桂キャンパスへ赴く場合、1時間以上かけて電車とバスを乗り継いで行かねばならず、最安でも片道540円を必要とします。

また、現行のバスの運行時刻も、配慮が十分なされたものではありません。宇治から桂のバスの第1便は午前9時発ですが、桂キャンパスで実施されている工学研究科の1時間目の授業に出席する場合、この便では間に合いません。したがって、車や原動機付自転車などを持っていない学生は、片道540円を払って公共交通機関を利用して向かうほかありません。工学研究科物質エネルギー科学専攻の修士1回生の授業は平均的に週に4日あるので、その都度朝は公共交通機関で行くと仮定すると、授業のある週が年間で36週と考えた場合、1年で80000円弱もの負担となってしまいます。

また、この不便さから、工業化学科の学生が配属先研究室を検討する際、研究内容には魅力を感じていても、宇治キャンパスを敬遠しがちであるのが現状です。

もし一日の運行本数が増えれば、学生の負担が軽減され、より研究に集中できるようになるのは間違いありません。さらに、4回生が配属を考える際も、交通面での不便さにとられることなく、自分の適性や興味といった本質的な要素で研究室を選ぶことができるようになると思います。

予算の都合上、バスの増便の実現が困難であることは承知していますが、一日3本、しかも1時間目の授業に間に合わないというのはかなり深刻な問題であると思いますので、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。せめて1時間目の授業に間に合う、宇治から桂の便を一本増便して頂くだけでも、負担は大きく軽減されるということを強調いたします。もしくは、高速道路を通らない、より予算の掛からない便が増えるだけでも、時間はかかるものの今より格段に便利になるのは確実です。

何か特別な理由があってバスの運行時間・本数が限られているのならば、その理由をお教えいただきたく思います。

【回答】（回答日：2018年3月22日）

（施設部プロパティ運用課）

吉田・宇治・桂のキャンパス間連絡バスにつきましては、学生・教職員の授業や学内会議等への出席の際のキャンパス間移動の不便さ解消・利便性の向上を、その運行の目的・趣旨としており、教員を含めて1限目の授業のための「通学・通勤」のために用意しているものではありません。

今回、宇治―桂キャンパス間の増便についてご要望を頂きましたが、さまざまな制約などもあり、現時点においては増便へのご要望にお応えすることは困難な状況です。

ただし、このような現状ではあります。分散したキャンパスを有する本学の抱える問題のひとつとして重々認識しております。

今後とも、3つのキャンパスの一体的・総合的な運営を図るとともに、本学の教育研究支援や学生生活支援のあり方を検討し、支援事業のひとつとして別途資金を獲得する等、実現可能性を模索・検証しつつ、支援サービスの一層の向上に努めて参ります。

この度は貴重なご意見を頂きありがとうございました。